

栃木県農業総合研究 センターニュース

No. **6**
2025.8



暑さに負けない農業を目指し、 次の時代へ進行中!!



① 正面入口の看板（写真左）

② イネの高温耐性検定ハウス（写真中央）

イネは出穂後 20 日間の平均気温が 27℃を超えると白未熟粒が発生しやすくなり品質が低下します。高温耐性のイネ品種を選抜するため、新たに設置した施設。

③ 施設キクの局所外気導入（写真右）

キクは夏季の高温による開花遅延及び障害花の発生が問題となっています。外気をダクトにより畝内へ直接通風することで株元を冷却。

Contents

- 【研究成果】 「夢あおば」の低コスト多収技術の確立 (P2)
土壌の可給態窒素による窒素施肥診断技術(P4)
- 【成果速報】 「とちぎの星」の収穫適期の検討 (P6)
ウォーターカーテンを用いた連続収穫 (P7)
- 【試験紹介】 キクの局所環境制御技術の開発 (P8)
育苗期間中の温度がいちごの花芽分化に及ぼす影響 (P9)
イチゴ萎黄病の耐病性育種素材の探索 (P9)
- 【トピックス】 いちご・トマトにおける灰色かび病の薬剤感受性を調査しました (P10)
- 【お知らせ】 病害虫発生予察情報を発表しました (P10)

